

2014（平成26）年度活動報告

部会長 狩野 啓子

- 4月21日 久留米大学比較文化研究所文化財保存科学研究部会&筑邦銀行ソリューション事業部キックオフ・ミーティング（狩野・矢野・大沼）
- 5月25日 東京でミラノ・ビコッカ大学のバンディエリ先生と面会（狩野）
- 5月26日 本田産業訪問（狩野）
- 5月31日 クララ採取（上宮健吉栽培分）参加者：上宮・狩野・矢野・大沼・溝田
- 6月24日 公開講座「文化財保存科学とIPM」開始（久留米大学福岡サテライト）
- 6月24日 宝物とつきあう 木村法光（佐賀大学非常勤講師、元宮内庁正倉院事務所保存課長）
- 7月1日 虫とつきあう 上宮健吉（比較文化研究所特別研究員）
- 7月8日 菌とつきあう 桑野剛一（久留米大学医学部教授）
- 7月15日 カビとつきあう 大沼雅明（久留米大学医学部准教授）
- 7月22日 ホコリとつきあう 川越和四（一般財団法人環境文化創造研究所主席研究員）
- 7月29日 文化財とのつきあい方 本田光子（九州国立博物館特任研究員）
狩野啓子（久留米大学文学部教授）
- 7月28日 和紙文化研究会に文化財保存科学研究部会として入会を申請。
- 8月11・12日 九州国立博物館で行われた文化財防災会議に出席（狩野）
- 10月24日 公開講座「筑後の藍と和紙」開始（久留米大学御井キャンパス）
- 10月24日 久留米緋の歴史 中村健一（創研出版）
- 10月31日 すくもをつくる 新居 修（新居製藍所）
- 11月7日 純正天然藍染めとは 松枝哲哉（藍生庵）
- 11月14日 八女和紙の歴史 谷口豊（久留米大学）
- 11月21日 クララ和紙をつくる 溝田俊和（溝田和紙工房）
- 10月26日 「久留米まち旅博覧会」の中で開催された「藍生庵の純正天然藍が輝くおりがみ絞り染め 風呂敷を染める」に参加（狩野）。
- 11月18日 八女和紙組合長松尾陽一さんに面会（狩野・矢野）。
- 11月29日 八女伝統工芸館で学生も参加して手漉き和紙体験。
- 12月5日 京都で行われた日本の手漉和紙技術ユネスコ世界無形文化遺産登録記念記者会見に出席（狩野・矢野）。
- 12月14日 八女伝統工芸館で学生も参加して手漉き和紙体験。
- 1月22日 九州国立博物館で行われた文化財防災会議に出席（狩野）。
- 2月4日 九州経済産業局主催「産業観光まちづくりセミナー」に出席。

- 2月23日 八女伝統工芸館訪問、交流会。
- 2月26日 クララ研究会に狩野・大沼・矢野・田中参加（新日本医薬・九州産業大学
久留米リサーチパークにて）。
- 3月7日 河北家（うきは市）の伝統行事「壁結い」を見学（狩野）。
- 3月15日 文学部講演会「イタリアと日本 ～400年の遠距離恋愛～」に協力。
- 3月23日～4月2日 ローマ、ミラノ訪問（狩野）。ローマではイヴァーノ・フランカヴィ
ラさんから和紙の輸出要請を受ける。ヴァチカン図書館古書部、古文書部を訪
問。ミラノではミラノ・ビッコカ大学を訪問。

（文責 狩野 啓子）